

## 会議録

会議の名称	令和4年度第1回西東京市防災会議
開催年月日	令和4年8月18日(木)
開催方法	書面による開催
<b>【報告事項】</b> (1) 首都直下地震等による東京の被害想定について (2) 令和4年度西東京市総合防災訓練について	
<b>【配布資料】</b> 資料 1 首都直下地震等による東京の被害想定について 資料2-1 令和4年度西東京市総合防災訓練の実施について 訓練概要(案) 資料2-2 令和4年度西東京市総合防災訓練の実施について 訓練詳細(案)	
<b>会議内容</b>	
<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面により開催した。議案及び報告に関する資料を、各委員に送付することにより実施。なお、報告事項のみとなったため、書面表決書や意見書などの提出はなしとなる。</p> <p>&lt;報告(1)について&gt;</p> <p>1 令和4年5月25日に、東京都より「首都直下地震等による東京の被害想定報告書」が掲出され、「1 背景」「2 基本的な考え方」「3 想定地震」について、東京都から示されました。</p> <p>2 「4 東京都の被害想定における西東京市の被害」では、西東京市において、4種の地震のうち、平成24年想定で最も死者が多いとされた「多摩直下地震」と、今後の想定で最も死者が多いとされる「多摩東部直下地震」の数値を記載しています。          東京都によると、多摩直下地震はプレート境界型地震、多摩東部直下地震はプレート内地震であり、メカニズムが全く異なるものの為、単純に比較できるものではないとコメントがあったことをご認識頂いた上で、参考にご覧頂きたい表です。</p> <p>3 平成24年4月に公表された被害想定での、西東京市における震度分布では、震度6弱が72%、震度6強が28%になっていましたが、令和4年5月に公表された被害想定では、震度6弱が25.2%、震度6強が74.8%となり、前回と比べて、震度6強の範囲が約3倍となっています。</p> <p>4 「5 被害想定の見直しに伴う今後のスケジュール」について、被害想定の見直しに伴い、東京都では地域防災計画の修正を行います。西東京市でも地域防災計画の修正を行うことを想定しています。          今後、計画の修正と併せて、この新たな被害想定に基づいて、災害備蓄品の数量や今後の震災に関する対策が検討されることとなります。</p> <p>&lt;報告(2)について&gt;</p> <p>1 総合防災訓練については、災害対策基本法及び地域防災計画に基づき実施するものです。関係機関との連携訓練により公助と共助の対応力向上を図るほか、市民参加に重点を置いた体験型訓練を実施し、自助と共助に関する意識の向上を図るとともに、市職員の災害対応能力の向上等を目的として実施します。</p> <p>2 「資料2-1 訓練概要(案)」について、訓練会場は「都立東伏見公園」を中心に、「西武新宿線西武柳沢駅」、「柳沢公民館」、「そんぼの家柳沢」の各会場にて訓練等を実施する予定です。訓練内容については大きく3つの項目から構成しており、市の職員が実施する「災害対策本部設置運用訓練」、市民の方々に体験していただく「地域住民体験訓練」、公助と共助の連携確認を目的とした「防災関係機関活動訓練」としております。</p> <p>3 「資料2-2 訓練詳細(案)」について、9時発災を想定して「一斉防災行動訓練(シエ</p>	

イクアウト訓練)」を実施後、メイン会場の都立東伏見公園では「地域住民体験訓練」として、「起震車体験」「避難動物収容訓練」「応急給水訓練」等を実施し、「防災関係機関活動訓練」として、「倒壊建物救出救助訓練」「延焼阻止線設定訓練」等を実施する。第2訓練会場となる柳沢公民館及び西武柳沢駅では「帰宅困難者対応訓練」を実施し、第3訓練会場となる「そんぽの家柳沢」では、初期消火や入所者の避難誘導等の「社会福祉施設被災時対応訓練」を実施する。また、市職員を対象とした「災害対策本部設置・運営訓練」「防災行政無線運用訓練」を他の訓練と同時並行で実施する。

- 4 令和元年度は台風第19号の影響により中止となり、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止としている。令和3年度は訓練対象を絞り避難所開設訓練等を実施しましたが、今年度と同規模の総合防災訓練は4年ぶりの実施となります。訓練等の実施にあたっては、基本的な感染症対策を行い、感染症の蔓延防止に努めます。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等によっては、訓練を中止又は縮小する場合があります。